

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28実績	前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価	
	資料購入費:決算数値(千円)	22,844	25,283	17,377	0.69	・資料購入費は、巻図書館の開館後の資料補充分がなくなったため減少した。 ・個人の貸出点数が微減。地域の人口の減少に伴い、利用も減少している。 ・H28は個人登録者数は横ばいだが、新規登録者数は微増した。	3 大変評価する。29% 2 ある程度評価する。71% 1 評価できない。0%	・人口減少があったり、書籍のデジタル配信等が進んだりする中で、例年並みの実績を上げるには大変な工夫や努力があるものと大変評価する。 ・入館者数はH26年よりむしろ増えている。それらを登録者数に結びつけるための現状分析と方策を打ってほしい。
	蔵書点数(点):図書・AV	284,894	292,039	288,733	0.99			
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	385,041	378,842	370,628	0.98			
	個人の登録者数(人)	13,106	12,119	12,112	1.00			
	(内新規登録者数)	1,625	1,150	1,241	1.08			
入館者数(人)	後期 新規 243,503	251,984	251,838	1.00				

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28目標	H28実績	自己評点	H29目標	評価(次年度への展開)		
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	5,946	7,233	7,000	8,288	3	8,300	・積極的にレファレンスサービスの広報を行った結果、レファレンス件数が増加した。 ・予約件数は昨年度に比べ増加率は少ないが、予約・リクエストサービスの浸透の伴い、年々増加している。	3 大変評価する。100% 2 ある程度評価する。0% 1 評価できない。0%	・図書館だより等、広報活動が充実しており、それがレファレンス件数や予約件数の増加につながっていると評価する。 ・レファレンスが約1,000件も増えている。広報の効果が出ているのだと思う。
	個人予約件数(件)	45,605	48,650	48,000	49,409	3	50,000			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	—	—	—	0	—	—			
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」								自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	12,975	13,864	13,900	14,498	3	14,500	・地域資料の積極的な収集に努めた結果、郷土・行政資料の蔵書冊数は増加した。また、地域の資料コーナーの設置により貸出冊数が増加した。 ・公民館との連携・協力事業については、目標を達成することができなかった。今後は積極的に連携協力をしていきたい。	3 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 1 評価できない。0%	・各図書館に地域のコーナーが設置されており、アピールされていた。また、資料・書籍が充実しており、地域色が出ている。 ・相手がある事業は予定通りにいかないことが多い。計画にのせる場合には、事前に先方との十分なすり合わせをしてほしい。 ・公民館との連携とは具体的に何を先行達成できなかったのか。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	4,064	4,427	4,400	4,724	3	4,700			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	後期 新規 —	—	0	23	3	20			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	後期 新規 —	—	4	1	1	2			
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」								自己評価	外部評価
児童書の貸出冊数(冊)	103,815	104,955	104,000	104,513	3	104,000	・小・中・高等学校への団体貸出冊数の減少については、学校図書館支援センターによるサポートによる学校図書館の充実等が要因として考えられる。 ・参加者の多い事業を共催したため、子ども・親子対象事業の参加者数が大幅に増加した。また、H28から対象事業が変更になったため増加している。 ・職場体験の受入人数は、学校からの依頼数が少なかったため減少した。受け入れに関しては、日程を調整のうえ積極的にやっていく。	3 大変評価する。50% 2 ある程度評価する。50% 1 評価できない。0%	・子供、親子対象事業の参加者数が大きく増加している。まずは足を運んでもらうことが、活動推進のための大きな一歩と評価できる。 ・団体貸出に関しては、学童勤務をしており、毎月20〜30冊借りている。子供達が笑顔で本を手にとってる姿に大変満足している。 ・子供への関わりは、よくやっていると大変評価するが、まだできることがあるのではと思う。 ・小・中学校・高校の職場体験、図書館事業の充実のためにも、是非続けてほしい。 ・子供・親子対象事業はもちろん続けてほしい。 ・相手がある事業は予定通りにいかないことが多い。計画にのせる場合には、事前に先方との十分なすり合わせをしてほしい。 ・公民館との連携とは具体的に何を先行達成できなかったのか。	
小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	後期 新規 7,361	7,556	7,600	6,085	2	6,100				
子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	1,820	1,787	1,700	3,269	3	2,400				
職場体験受入人数(人)	101	40	40	27	1	30				
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	後期 変更 —	—	40	45	3	40				
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	後期 新規 —	—	4	0	1	1				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」								自己評価	外部評価	
図書館ボランティア活動者数(延人数)	382	943	900	1,021	3	1,000	・ボランティア活動人数については、H28から対象事業が変更になったため増加している。 ・ボランティア団体交流会は、ボランティアの都合により参加者がいなかった。	3 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。75% 1 評価できない。0%	・ボランティア交流会は是非やってほしいので、都合をつけてなんとかやれるようにしてほしい。	
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	0	2	2	0	1	3				
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	0	2	3	3	2	1				
共催・協働事業の実施件数(件)	後期 変更 —	—	18	20	3	20				
効率的・効果的な運営(職員)								自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	87	139	100	176	3	150	・前年に引き続き業務能力向上のため、研修参加を推進した。全職員を対象とした研修が複数行われたため、参加者数が増加した。	3 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12.5% 1 評価できない。0%	・各図書館の取組、職員の対応など、大変すばらしい。研修等での力が作用していると評価できる。 ・研修の方法を工夫する等による研修の充実を評価したい。 ・非常勤職員等が図書館業務運営上、大きな比重を占めているので、今後も継続してほしい。	

